

### 美術館25年間の歩み

できごと	
昭和59年(1984年)	小平市平櫛田中館が開館
平成6年(1994年)	展示館が開館 展示館開館記念展①を開催
平成7年(1995年)	特別展「橋本平八と平櫛田中」②を開催
平成8年(1996年)	特別展「大内青圃と平櫛田中」③を開催 ※パリで「平櫛田中展」が開催される。
平成9年(1997年)	特別展「辻晉堂と平櫛田中」④を開催 ※NHK「日曜美術館」で当館が紹介される。
平成10年(1998年)	特別展「平櫛田中の書」⑤を開催
平成11年(1999年)	開館15周年記念「石井鶴三展」⑥を開催
平成12年(2000年)	特別展「平櫛田中の肖像彫刻」⑦を開催
平成13年(2001年)	特別展「ブロンズ彫刻のつくり方を学ぼう」⑧を開催
平成14年(2002年)	特別展「中原悌二郎素描展 描かれた未完の彫刻」⑨を開催
平成16年(2004年)	開館20周年記念「平櫛田中のすべて」⑩を開催
平成17年(2005年)	※小平市へ遺族から214点の平櫛田中の作品などが寄贈される。
平成18年(2006年)	小平市平櫛田中彫刻美術館と改称 特別展「甦る近代彫刻の鬼才 佐藤朝山展」⑪を開催 ※NHK「新日曜美術館」のアートシーンで同展が紹介される。
平成20年(2008年)	特別展「仏像インスピレーション 仏像に魅せられた彫刻家たち」⑫を開催 ※美術館ボランティアを導入。



# 平櫛田中彫刻美術館



# 開館25周年



## 開館25周年を迎えて

小平市平櫛田中彫刻美術館 館長 平櫛弘子



昭和59年秋の開館以来、館とともに歩み、今年25周年を迎えられたということには、感慨深いものがあります。祖父の没後、当時の大島市長さんの提案で、市の文化的施設、記念館として住居を公開したいというご希望は、私にとりまして大きな決断でありました。

隣に住居を移し、数少ないながらも彫刻作品を展示し、記念館としての体裁を整えての船出でした。この記念館時代には警備、安全面などで、今では

不可能と思われる状況の中でも幾多の特別展を催しました。これは市関係者の熱意と他館の協力あってこそのことでした。平成6年に展示館が完成し、美術館としての活動も幅を広げ、平成17年にはほとんどの彫刻作品および100点以上の書が市の所属となりました。現在、名称も「小平市平櫛田中彫刻美術館」となり、今後は、数少ない近代彫刻作家の美術館としての充実を図り、また、市民の皆さんの「安らぎ」と「学び」の場としての役割を果たすべく努力してまいりたいと思います。

本年は「25周年記念展」とともに私からもサプライズを皆さんにお届けしたいと考えています。今後も、末長く、この美術館を愛し、応援し、育てていただくようお願い申し上げます。



### こんな特別展をやってきました

※①～⑫は、上段「美術館25年間の歩み」のポスター。



### 来館者の声

- 緑のきれいな田中先生のお宅に来て、本当にうれしく思いました。作品の一つ一つがすばらしく、ただ感謝して見せてもらいました。(杉並区在住)
- 前からぜひ見たいと思っていました。心静かにすごせる美術館とすばらしい日本家屋に出会えてうれしかったです。また来ます。(小平市在住)
- 市内にこのようなすばらしいところがあることを、心からうれしく思います。(小平市在住)

玉川上水を散策中に何度も来ています。静かで、周りの風景によく溶け込んでいますね。これまでにお茶会に参加したことがありますが、特別展は初めて。また、次の彫刻の展覧会を期待しています。



特別展「仏像インスピレーション」に来館された藤澤さん(左)と猪又さん(右)

### 今後の予定

- ◆平櫛田中の書Ⅱ  
とき 5月10日(日)まで
- ◆おひなさま展示  
とき 2月4日(水)～3月23日(月)
- ◆25周年記念展  
とき 10月23日(金)～11月29日(日)(予定)



### 募集しています

平成20年3月に美術館ボランティアがスタートしました。現在、美術館ガイド、広報、イベント協力などの活動を行っています。随時、募集を受け付けていますので、ふるってご応募ください。

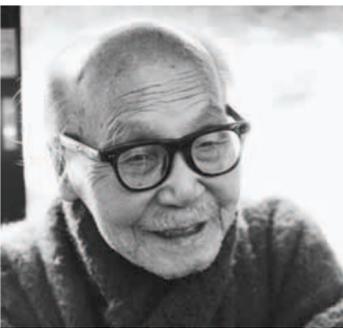
### ミュージアムグッズ

絵はがき、展覧会図録、作品集、色紙に加えて、近日中に、クリアファイル、携帯ストラップ、一筆箋の販売を開始します。お楽しみに。



### 利用案内

**利用時間** 午前10時～午後4時(なるべく3時30分までに入館してください)  
**観覧料** 一般…300円(220円)、小・中学生…150円(110円)  
 ※カコ内は、団体20人以上です。  
**休館日** 火曜日(祝日に当たるときは、その翌日)、年末年始(12月27日～1月5日)  
**所在地** 学園西町一丁目7番5号(西武線一橋学園駅徒歩10分)  
**問合せ** 平櫛田中彫刻美術館 ☎042(341)0098  
 生涯学習推進課 ☎042(346)9574



### 平櫛田中 (1872—1979年)

日本を代表する彫刻家。伝統的な彫刻の技術に西洋の写実的な表現を加えて、新たな木彫様式を築きました。昭和45年に小平市に転居し、昭和54年、107歳で亡くなるまでの約10年間を過ごしました。

### 平櫛田中 豆知識

誕生日は2月23日?それとも6月1日?

田中が生まれた明治5年、新橋—横浜間に鉄道が開通するほか、暦が太陰暦から太陽暦に変わりました(明治5年12月3日を明治6年1月1日とする)。田中の誕生日は親から1月15日と聞いていたが、暦が変わったことによる誤差を考慮して、本人は2月23日に誕生日のお祝いをしていました。しかし、戸籍上は6月1日になっています。これは当時、よくあったようですが、出生後の届けの遅れによるものと考えられます。

### 平櫛田中 107年の歩み

明治5年 岡山県井原市に生まれる

↓ 明治30年 25歳 上京

↓ 明治43年 38歳

〈法堂二笑〉 ブロンズ

作品が売れず、生活はどん底に。苦勞の末に制作したこの像が岡倉天心に褒められ、思わず涙をこぼしてしまったというエピソードがある

↓ 大正2年 41歳

〈尋牛〉(本作はのちの改作) 木彫

「フランスの若い彫刻家たちに見せたい」と岡倉天心が絶賛した作品。田中の出世作

↓ 大正9年 48歳

〈転生〉 ブロンズ

2メートルを越す大きさは田中にとって初めての体験。仕事場が狭くなったため、横山大観たちの尽力により、台東区上野桜木にアトリエを建てることになる。田中の代表作

↓ 昭和元年ごろ 54歳ごろ

〈新春〉 木彫彩色

このころ二児を失う。仔犬に、亡くした子どもたちの思い出を見ることもあったかもしれない

↓ 昭和19年 72歳

東京美術学校(現・東京芸術大学)の教授になる

↓ 昭和33年 86歳

〈鏡獅子〉 木彫彩色

昭和13年から制作を開始し、戦争による中断を挟んで、20年後に完成した

↓ 昭和37年 90歳

彫刻界での功績が認められ、文化勲章を受章する

↓ 昭和45年 98歳

小平市に転居。昭和47年に小平市の名誉市民となる

↓ 昭和54年 107歳

小平市で没



▲法堂二笑



▲尋牛



▲転生



▲新春



▲鏡獅子